



竹の割り箸を作るグリーン・ツーリズムの
モニターツアー参加者

募集について (株)大田原ツーリズムの株式

質問（小野寺尚武議員） 株式会社大田原ツーリズムの株式募集はどのような手順で、どのような方法で行うのか伺います。

答弁（市長） 株式会社大田原ツーリズムの株式募集を含めた今後の資本増資計画でありませんが、一つには新たな株式を発行する計画でありまして、一株五万円で発行株式数三百株とし、総額千五百万円を調達する計画であります。募集期間は、平成二十四年十月一日から翌年の三月三十一日までの六カ月間

とし、募集対象者を本事業にかかわる市内の各業者、県内金融機関及び県内の公共性のある事業会社としています。

大田原市が今年度末に補正予算措置を講じ、ご議決をいただきましたならば、総額二千万円の追加出資により、四百株の増資を計画しており、計画どおり進めば年度末には総発行株数千三百株、資本金六千五百万円となる予定です。

二つ目は、市民ファンドによる資金調達を計画しており、一

大田原グリーン・ツーリズム 推進協議会について

質問（印南久雄議員） 大田原グリーン・ツーリズム推進協議会の位置付け及び株式会社大田原ツーリズムの代表権を持つ会長と社長が、推進協議会の正副会長に就任していることについて伺います。

答弁（市長） 大田原グリーン・ツーリズム推進協議会につきましては、大田原の自然、文化、人々と都市住民との交流を促進して観光を活性化するとともに、地元農林水産物の消費拡大及び収益改善によって、農業の

担い手のモチベーション向上を図り、地域活性化に資することを目的に五月二十五日、二十三の構成団体により設立しており、大田原グリーン・ツーリズム活動の支援体制の構築として農家民泊申請の窓口、グリーン・ツーリズム事業を実施するための補助事業の受け皿、株式会社大田原ツーリズムを業務支援するという位置づけとなっております。

二百二十万円補助金の受け皿として五月に協議会を設置したことから、その段階において協議会の内容、仕事の内容を熟知されている関係機関、団体等の会員の方々が余りいらつしやらないということ、当面私と、一番内容を熟知している株式会社ファーム・アンド・ファーム・カンパニー社長であります株式会社大田原ツーリズム社長である藤井大介氏のこの二人が就任いたしました。

本協議会については、いずれ株式会社大田原ツーリズムの会長、副会長職から別な方に譲っていきたいと考えています。

口三万円で一人当たり上限を五口までとし、総数三百八十三口で総額千四百四十九万円を調達する計画であります。募集期間は、株式募集と同じく平成二十四年十月から翌年の三月三十一日までの六カ月間とし、募集対象者を市内外の多くの一般の方々としています。

株式会社大田原ツーリズムにとりまして、事業が軌道に乗るまでの運転資金を増資により確保することは、会社存続の重要な事項でありますので、ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。



ここを拠点に営業活動しています